

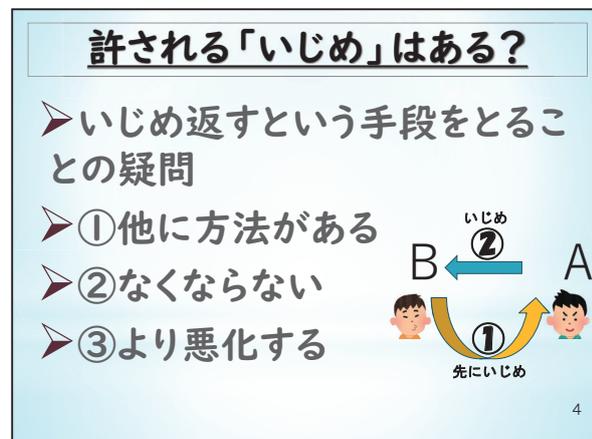
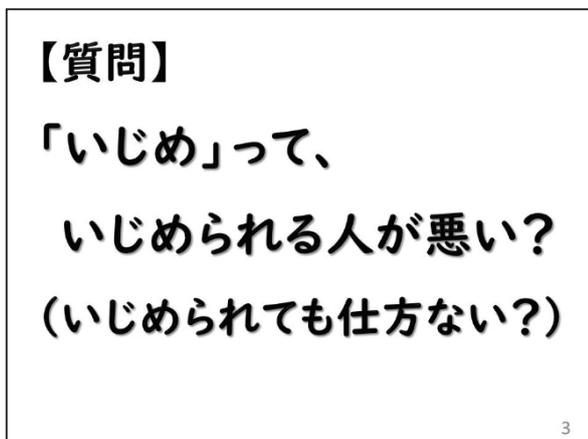
## 授業案③② いじめ予防（定型）

### 1 人権が守られている状況についての説明



弁護士による法教育授業の一環として実施されているいじめ予防授業は、人権の視点からいじめを考えることをテーマとしており、授業の前半で人権についての話をしている。人権の一般的な説明（人が生まれながらにして持っている人間らしく生きる権利）を知っている子どもは多いが、抽象的な理解にとどまっている。いじめ予防授業では、CAPプログラム（Child Assault Prevention 子どもへの暴力防止）の考え方をもとに、「人権が守られている状態」を「安心」「自信」「自由」の3つのキーワードを使って説明する。いじめは安心・自信・自由を傷つけるものであり、自分が自分や相手の安心・自信・自由を大切にす、相手が自分の安心・自信・自由を大切にしてくれる、そのような生き方が人権を尊重する社会であることを説明する。

### 2 いじめられる側が悪いのか



子どもたちの多くは「いじめはダメ」という規範意識を持っている。しかし、「いじめられる

側も悪いと思うか？」と質問すると、どの学校でも大半の子が「いじめられる側も悪い場合がある」に手を挙げる。子ども達は、先にいじめをした人は、いじめられても仕方がないと考えており、いじめが許容される場面も存在するとの本音を持っている。授業では、子ども達に本音を発言してもらいながら、先にいじめをした人に対して「いじめ返す」方法をとってもいじめがエスカレートするだけで問題の本質は解決しないこと、いじめという安心・自信・自由を傷つける手段を選択することは問題解決の方法として間違っていること、許されるいじめはないことを伝える。

**「いじめ」られても仕方がない…？**

Bには直すべき点があるかもしれない  
だからといって  
Bを いじめ ていいことにはならない!



「いじめ」は困りごとの解決方法として  
「間違った手段」です!

5

**【私たち弁護士の考え】**

- ◆許されるいじめは一切ない!
- ◆いじめは安心・自信・自由を傷つける
- ◆やられる側に「原因」があっても「いじめ」で応じるのは間違え!
- ◆いじめ以外の解決方法を考える!
- ◆誰にも「いじめる権利」はない!

6

### 3 実際に起きたいじめ自殺事案の紹介

いじめがエスカレートするとどうなるか、過去のいじめ自殺事件（北海道滝川市の小学生の事案、東京都中野区の中学生の事案、青森県の高校生の事案等）を紹介している。北海道滝川市の小学生の遺書には「この手紙を読んでいるということは私が死んだということでしょう」「何度か自殺も考えました。でもこわくてできませんでした。でも今私はけっしんしました。」などの言葉が綴られている。実際の話だと知ると子どもたちの雰囲気は一気に変わり、真剣に集中して聞く様子がみられる。実際の自死事例を扱うことも弁護士がいじめ予防授業する意義の一つだと考えている。

### 4 心のコップ

**心のコップの水**

小さいいじめ =  (一滴)

悪口、シカト、嫌がらせ  
イヤなことをされると水  
がたまる。

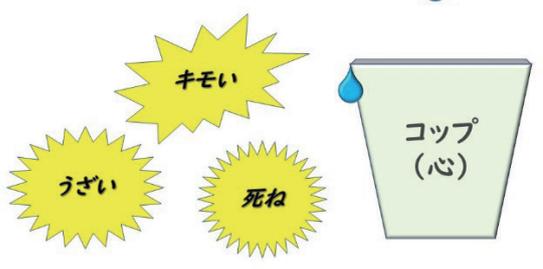


7

**心のコップの水**

最後の一滴 = 

キモい  
うざい  
死ぬ



8

人は辛いことをためる心のコップを持っている。嫌なことがあるとコップの中に水が溜まっていく。いいことがあると水は蒸発してなくなるが、いじめられている人は嫌なことが多いので、心のコップの中に水が増えていく。コップの淵ギリギリまで水が溜まったとき、もう一滴加わったらコップから水があふれて流れだす。これがその人の心が限界を超えたときであり、限界を超えると、人は、病気になったり、学校に行けなくなったり、死に追いやられたりする。（「自殺」という言葉には自ら死を選んでいるニュアンスが含まれる。視野狭窄により死しか道がない状態にある中で自死しており、被害者が自ら死を選んでいるわけではないという気持ちを込めた言葉遣いを考慮する。）

**心のコップ**

あふれさせるのは  
**1滴**でいい。

あふれそうかは  
外から見えない。

**いじめは自尊感情を低下させる  
自尊感情の低下が続くと...**

- ・ 対等な人間として承認されていない
- ・ あきらめ・無気力→抑うつ症状
- ・ 絶望
- ・ 不登校の長期化
- ・ 自死

5 いじめられる側といじめる側の感じ方の違い

**Q. どんな気持ちだったろう...??**

いじめた子や同級生は「死ね」とか「殺そう」と思っていたか?

9

**Q. 感じ方は同じかな...??**

悪いことしっちゃった

大きい? 小さい?

イヤな気分...

いじめたため人を

深い? 浅い?

残る? 忘れる?

いじめられたため人を

10

6 いじめの四層構造

**「いじめ」に関わる4つの立場**

見てる子  
しずかちゃん

おもしろがる子  
スネ夫

いじめられた子  
のび太

いじめる子  
ジャイアン

11

**加害者にできること**

いじめる子

ジャイアン

- いじめをしない。
- いじめをやめる。
- いじめをしている自分に気づく。

12

### 被害者にできること

いじめられた子

のび太

- 「いや!」「やめて」と、言えるようなら言う
- つらい気持ちを友だちや家族、先生、大人に話そう
- いじめから逃げる

13

### 観衆にできること

おもしろがる人

スネ夫

- ジャイアンがいじめをおうえんおもしろがらない(応援しない)
- その場からはなれる
- 別の話題に切り替える
- 「やめよう」と言う

14

### 傍観者にできること

見ている子

しずかちゃん

いじめちゃダメよ!

止める

---

支える

のび太さん大丈夫?

ジャイアン

のび太

15

しずかちゃん

心配よ

味方よ

大丈夫?

心配なの

やめて!

ダメ!

よくないわ

みんなで止める!!

みんなで支える!!

しずかちゃん

ジャイアン

スネ夫

16

加害者・被害者の二当事者だけではいじめの全体像を捉えることができず、いじめは構造で捉える必要がある。いじめの四層構造の説明として「ドラえもん」の登場人物を用いることもある。ジャイアン(加害者)は、スネ夫(観衆)にウケてると思っていじめをエスカレートさせており、いじめを大きくしているのはスネ夫(観衆)の振る舞いにも要因がある。また、クラスの大部分はしずかちゃん(傍観者)であり、しずかちゃんがいじめを止める、のび太を支える気持ちを持つとクラスはいじめを許容しない雰囲気になっていく。いじめと関係ないと思っている「傍観者」にこそいじめをなくす力があることに気づいてもらう。